

# CASBEE®新潟 | 評価結果 |




■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

## 1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	学生会館UniE'meal新潟大学前Ⅱ 新潟県新潟市西区大学南1丁目6678番3 他5筆 都市計画区域内、市街化区域、第1種住居地域、第2種住居地域 集合住宅、 2022年2月 竣工 2,398.22 m <sup>2</sup> 1,487.98 m <sup>2</sup> 5,997.22 m <sup>2</sup> 地上5F RC造 実施設計段階評価 2021年1月8日	
---	--	--

## 2. CASBEE新潟の評価結果

 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{44.7}{39.8} = 1.1$
--	----	--

## 3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	3.0		バリアフリー計画	Q2.1.1.3 3.0
			維持管理	Q2.1.3 3.0
			設備の更新性	Q2.3.3 3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	3.0		耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1 3.0
			信頼性	Q2.2.4 3.0
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1 3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.5		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1 4.0
			自然エネルギー利用	LR1.2 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	2.7		節水	LR2.1.1 3.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4 1.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6 4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全と創出	Q3.1 2.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2 1.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	3.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2 3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1 3.0

## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

内装や外装、ダクトなどに耐用年数の長い材料を使用したり、維持管理方法が大きく異なる仕上材を使用しないことにより、建物の長寿命化を図っている。躯体と仕上材が容易に分別可能になっており、部材の再利用向上への取り組みがなされている。二重窓を採用し、建物外皮の熱負荷を抑制している。

# CASBEE<sup>®</sup>新潟

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	学生会館UniE'meal新潟大学前Ⅱ	階数	地上5F
建設地	新潟県新潟市西区大学南1丁目6678番3 他5筆	構造	RC造
用途地域	都市計画区域内、市街化区域、第1種住居地域、第2種住居地域	平均居住人員	188 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年2月 竣工	評価の実施日	2021年1月8日
敷地面積	2,398 m <sup>2</sup>	作成者	杉澤 毅
建築面積	1,488 m <sup>2</sup>	確認日	2021年1月8日
延床面積	5,997 m <sup>2</sup>	確認者	杉澤 毅



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.6

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.4

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.2

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 二重窓を設置することで、断熱性の高い建物になるよう努めている。また、仕上材には長く使える物を多く採用することで、建物の長寿命化を図っている。		その他 特になし
<b>Q1 室内環境</b> F☆☆☆☆の材料を全面的に採用している。大きな窓を設置して室内の日当たりがよくなるようにされている。	<b>Q2 サービス性能</b> 耐用年数の長い仕上材を採用し建物の長寿命化を図っている。風除室の自動ドア2つが3m以上離れており、2つの扉が同時に開かないように配慮されている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> テラス部分に植栽が施されている。建物の中心にテラスがあることで開放的な空間を作っている。
<b>LR1 エネルギー</b> 外皮等級4に適合した設計となっている。二重窓を採用することで光を当り入れつつ断熱性能が損なわれない工夫がなされている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 躯体と仕上材の別が容易に可能となるようにされている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 敷地内に決められたゴミ置場を設置し、ゴミが適切に捨てられるようにされている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される